

## 第8回名勝洗足池公園保存活用連絡協議会 議事要旨

令和7年2月19日（水）14：00～15：30  
洗足区民センター第二集会室

### <当日資料>

- ①次第
- ②第7回協議会議事概要
- ③第7回協議会での指摘事項と対応方針
- ④資料1 名勝公園マネジメント計画について
- ⑤資料2 水環境改善対策実施計画について
- ⑥資料3 洗足池公園60周年記念式典（仮）について
- ⑦資料4 景観構成重要木の伐採報告
- ⑧資料5 洗足池公園増設整備について
- ⑨資料6 キッチンカー試験導入について
- ⑩資料7 都市景観大賞へのエントリーについて

発言者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
-	--以下議事内容--
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第7回協議会議事概要」並びに「第7回協議会での指摘事項と対応方針」の確認は、時間の関係でこの場では行わないが、ご覧いただき、何か問題等あれば事務局に連絡いただきたい。</li> <li>・議事概要の確認は、私と副委員長に一任いただくということで以前承諾をいただいております、私と副委員長で問題ないことを確認している。</li> <li>・本日の議事は2題である。</li> <li>・「名勝公園マネジメント計画について」事務局から説明願いたい。</li> </ul>
事務局	（資料1 名勝公園マネジメント計画について 説明）
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回指摘のあったゾーン間のつながりについて現状の課題並びにそれを基にした対策、あるいは全体の人の流れをまとめていただいた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ページの図で、EからFの間にオレンジ色の破線があるが、どのような流れを示しているのか。流れる動線、滞留する動線のどちらとも取れないということか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞留する動線だが、一部園外に出る部分でもあるため、表現を変えている。EからFの破線の区間は妙福寺や石畳など雰囲気の良い一角になっているため、ただ動線というだけではなく楽しみながら歩いていただける場所であるため、滞留する動線の色で表現している。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順路を表示するようなものを置くのはどうか。順路としてはAからFへの順路が良いかと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的コースが限られている場合は、順路に従って名所などを回っていただくケースは多いが、洗足池公園は分かれ道が多く、全体として見どころがたくさんあるため、あえて順路を示さなくても良いと感じるが、ご意見を踏まえて何ができるか検討していきたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シークエンス景観でルートのように示したので、お勧めコースのようなものも良いと感じる。その中に文化財等の一覧をセットで表示するのも良い。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ページ目の左下に「シークエンス景観の結节点」と表現されているが、「結节点」という表現のほうが適切である。</li> <li>・シークエンス景観の結节点をA、B、C、D、E、Fと示しているが、前回協議会で</li> </ul>

	<p>示していた景観のグループもA、B、C、Dという同じアルファベットの名前をつけており、違う記号などにして区別したほうが良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3ページ目の一覧表は、今後のマネジメント計画に使っていくことになると思うが、今回の議題にある結節点だけでなく、流れる動線、滞留する動線のシーケンスも併せて、お勧めルート（時計回りに回っていくのが標準と思う）の順で動線と結節点が順番に並んでいくような整理をしてはどうか。</li> <li>・その際、「課題」をいきなり示す前に「留意すべき点」は何かを示し、それが問題ありなのかなしなのか、問題があるものは課題というように位置づけをして整理したほうが、今後マネジメント計画で使っていくためには良い。例えば、今回の一覧表で記載されている「課題」の前に、「留意すべき点」として、結節点であればある程度スペースのゆとりがあるか、池の眺望が確保されているか、その先の行き先の方向が分かりやすいかなどの留意点を示して、現状で池が見えないなどの課題があるのであれば、そこは課題であるという示し方をしたほうが、今回限りではなく今後マネジメント計画を策定していくに当たって使いやすくなると感じた。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承知した。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1ページ目で保存計画は「済」となっており、これから活用計画の検討に進んでいくということだが、これで保存計画に関する内容が終わりということは無く、検討は継続している話なので、「済」ではない。</li> <li>・資料の構成を副委員長にご指摘いただいたことに加えて、再考したほうが良い。例えばつくる、守る、育てる、学ぶ、つなぐ、使うという切り口でマネジメント計画を立てないと、その場しのぎになってしまう。あくまでも計画なので、きちんと計画論を展開していかないと、その都度場当たりでやっている感じが否めないなので、ご注意ください。</li> <li>・池を中心にシーケンスで周遊を確認したり、あるいは入り口周辺を景観的に検討してきたというのは非常に良いが、年間で4万人を超える利用者がボートを利用し、池の中から周りを見ている。そのため、池の中から見たときに景観阻害要因はないかを確認し、あるのならば対策をしたほうが良い。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承知した。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議題2の「水環境改善対策実施計画について」事務局から説明願いたい。</li> </ul>
事務局	(資料2 水環境改善対策実施計画について 説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2ページ目に示されている①の水質浄化施設と②の植生浄化と③の底質の直接改善の3つを今後進めていく、シミュレーションをしてみて、その効果の検証結果については次回報告したいという2点が今回の重要な点で良いか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その通りである。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーションの期間が平成31年4月から令和2年3月となっているが、既に過ぎ去った期間をどのようにシミュレーションするのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは現況水質の再現計算をして、モデルが正しく現況を説明できるかを検証する必要があるため、観測データがそろっている過去の1年間のデータを使用する。</li> <li>・前提として、気候変動などで環境は大きく変わってきているが、洗足池の水環境の1年間の動きは過去、現在、将来で大きく変わらないだろうという前提の下に、過去の1年間のデータを使って計算をする。</li> <li>・仮に将来の予測でやっっていこうとすると、仮定をさらに積み重ねていくことになり、ブレが大きくなる。</li> <li>・現況再現の後に①、②、③の水質改善の手法をそれぞれ適用し、現況と比べてどの程度改善するのか、どの手法が水質改善効果があるのか、どの組合せが効果が最も高いのかを検証していく。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ページの図5に、ヨシとマコモの配置が記載されているが、すぐに実際の池で植栽するわけではなく、このように植生を配置した場合の改善効果を既存のデータを使っ</li> </ul>

	て計算上で確かめたいという話で良いか。
事務局	・その通りである。まずは3ページに示した想定でシミュレーションを行い、机上での程度の効果が期待されるのかを検証する段階ということでご理解いただきたい。
委員	・①の水質浄化施設は実際に機器を持ってきて、洗足池でろ過してみたり、②の植生浄化は実際に植えて状態を見るかと思ったが、そうではなく、植えたらどうなるかを計算上で確かめるということか。
委員長	・計算上である。
委員	・シミュレーションの区画割が3ページの図5に示されており、池を3つに分けて各区画の真ん中にAR1、AR2、AR3という底質改善ユニットが配置されているが、2ページ目の③の底質の直接改善の装置をここに置く想定ということが良いか。
事務局	・6ページ目に底質の直接改善装置の例が写真で載っている。この装置をARの1～3に仮に設置した場合で計算する。
委員	・図6、7、8のどれを設置するのか。
事務局	・図8の浄化ユニットに図7の培養槽と図6のナノバブルもセットになっているものを3か所に設置すると仮定する。
委員長	・底質の直接改善には季節などが影響するのか。
事務局	・6ページの図5に参考資料として「日本橋川での実証実験風景」という写真があるが、これは今年度の9月から1月にUR都市機構が日本橋川で底質の直接改善の機械を使って実験をしている。バクテリアの活動で浄化するシステムなので、水温が下がってくるとバクテリアの動きが少し鈍くなってきて、浄化能力が少し落ちることが分かってきている。基本的には夏場も含めて通年稼働させて、全体的な底質を少しずつ改善していくシステムである。
委員長	・ヨシやガマは冬は地上部が枯れてしまうため、あまり大きな期待はできないのではないか。
事務局	・ヨシやガマを冬場にそのまま放置すると、枯死・腐敗して水中に窒素やリンが戻ってしまう。そのため、定期的に刈り取って、活用につなげたいと考えている。
副委員長	・浄化施設と植生と底質の直接改善の3つのうち、どれが良いかということではなく、3つをどう組み合わせるかということが良いか。
事務局	・3つとも必要と考えている。底質改善はヘドロの減少、植生浄化は水中からリンや窒素を外に出すこと、水質浄化施設は、現況の施設も同様だが、水中の植物プランクトンや浮遊物質などの有機物類を除去することを目的としている。そのため、3つとも役割が違うことから、3つとも必要で、それぞれどの程度の浄化能力が必要かは今後検討していかなければならないと考えている。
副委員長	・そうだとすれば、3ページのシミュレーションの左下に計算ケースがあり、ケース1は浄化施設のみ、2と3は植生のみ、4は底質の直接改善のみなので、それぞれ単独で実施したらどうなるかということは知りたいが、ケース5の中に様々なバリエーションが出てくるという理解で良いか。
事務局	・その通りである。ケース5の中には様々なケースが出てくることになるため、現状では一度想定した組合せで計算してみて、「単独と比べてどの程度の効果があるか」や、「3つの浄化手法を組み合わせれば3つとも少しスペックを落としても水質を維持できるか」などがシミュレーションで明らかになると考えている。
副委員長	・承知した。 ・もう一点、水質環境改善対策実施計画は議題1のマネジメント計画と分けて話をしているが、将来的に自浄作用を期待するということであれば、マネジメント計画の中で水質をどう扱うかは入ってくるはずだと思うが、その理解で良いか。
事務局	・マネジメント計画と水質環境改善対策実施計画は別個に考えている。
委員長	・公園全体のマネジメントなので個々に考えるのではなく、副委員長の指摘の通り当然

	<p>マネジメントの中に入ってくる。個々も大事だが、それらをつなぐことによって相乗効果が出てくる場合もあるので、水質改善を全体の計画の中で適切に位置づけて、基本理念に即して体系的に洗足池公園をいかに良くするかという趣旨を忘れずに考えていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そのため、マネジメント計画の1つとして「守る」という切り口で、水質を守るといふ具体施策に位置づけられる。そのように体系的に考えていくと、さらに公園が良くなると思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承知した。</li> </ul>
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水質改善では、今回かなり大規模に浄化方法を変えるので、それを独立して検討するのは良いが、検討した水質改善対策が何らかの形で実現されたときに、それをどう維持していくかはマネジメントの問題なので、マネジメント計画にも入れ込んでいく必要がある。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・承知した。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他報告事項で、資料3の「洗足池公園開園60周年記念イベントについて」事務局から説明願いたい。</li> </ul>
事務局	(資料3 洗足池公園60周年記念式典(仮)について 説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご案内のとおり風致協会主催で、3月20日に記念のイベントが行われるが、資料-3の「案」が取れるのはいつなのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近いうちに「案」を取りたいと思っている。</li> <li>・「案」が取れたら、出張所にチラシを置かせていただく。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張所にいつ置かれたかはわからないため、メールなどで教えていただきたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何らかの形でお伝えする。</li> <li>・資料-3はあくまで一般向けのイベントのチラシで、これ以外に風致協会主催で公園増設地での植樹祭と、風致協会の1階で祝賀会を予定している。それには、区長、副区長、区議会議員、町会の方をお呼びする予定である。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月20日、ぜひお時間をおつくりいただいでご参加いただきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗足池は昔からずっと公園だったと思っているが、この60周年記念というのは何の60周年か。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都立公園として洗足公園という名前が開園したのが60年前ということである。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その後、区に移管されたため、遡ると都が都市公園として指定してから60周年ということである。</li> <li>・その他報告事項の2件目、資料4の「景観構成重要木の伐採について」事務局から説明願いたい。</li> </ul>
事務局	(資料4 景観構成重要木の伐採報告 説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採反対などの意見は出ていないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域基盤整備第三課の管轄であるため、直接は聞いていないが、そのようなご意見を受けたという情報は今のところ届いていない。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民団体から、伐採について説明してほしいというご要望が一件あり、本協議会でこれまで協議してきた内容について説明し、危険性の優先順位をつけて伐採していることを説明したところ納得いただいた。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他報告事項の3件目、「洗足池公園増設整備について」事務局から説明願いたい。</li> </ul>
事務局	(資料5 洗足池公園増設整備について 説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増設地について様々変更があったようだが、東京都への変更手続は問題ないか。</li> </ul>
東京都	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変更届は、一度頂いている。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図1のデッキを含めた大幅な構築物の変更に關しては、東京都へ変更手続を実施している。樹木に關しては1本ずつ変更手続きを行っているか確認が必要だが、現地で立ち会った際に景観に大きな影響はないと判断しており、完了報告の段階では全て記載</li> </ul>

	する内容になっているため、完了報告で確認いただきたい。
東京都	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増設設備と先ほどの景観木の伐採に関して、両方とも現状変更届を提出してから工事していると思うので、終了したら完了報告を提出いただきたい。</li> <li>・変更箇所について、変更前の予定では「高木が何本、中低木何本」と記載していただいていると思うが、何本と決めつけてしまうと後々変更が生じたときに変更届を出し直さなければいけないため、「約何本」、「何本くらい」といった表現で提出していただくよう引き続きお願いしたい。</li> </ul>
事務局	・承知した。
委員長	・住民の方から「メッシュフェンスの高さを50センチ下げてください」という要望があったようだが、どういう理由なのか。
事務局	・フェンスが公園と民地の間に立つことで圧迫感があるということで高さ調整をした。
委員長	・フェンスの色は何色か。
事務局	・ダークブラウンである。
委員長	・それならば問題ない。
事務局	・資料5の(2)について続きで説明させていただく。
事務局	(資料5 桜山・松山エリア擁壁改修について 説明)
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・②の青で示されている鉄筋補強土工法は、丘陵地の宅地造成地や山あいの道路ののり面などで使用している工法だと思うが、名勝地でこの工法は適切ではないと思う。「景観に合った自然石張りとする」と記載されているが、逆により不自然な感じになるように思うので、工事が令和8年以降ということであれば、再検討いただけないか。</li> <li>・加えて、かなり古い擁壁だと思うので、アンカーを打つ工事によって、逆にクラック(亀裂やひび割れ)が発生する結果になってしまわないか懸念される。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松山東側の桜山・松山エリアで擁壁が高くなっている部分に鉄筋補強土工による改修を検討しているが、現在コンクリート構造で直壁の状態であり、擁壁の裏側の際に大きなケヤキの木があること、既存の擁壁に変状は見られないこと、ボーリング試験を行った結果、土についても安定しているという結果が得られたことから、既存の擁壁を生かして補強していく鉄筋補強土工法で検討した。</li> <li>・景観については、自然石張りとし、洗足池の風致に合うような方法、見た目で設計していくが、いただいたご意見を踏まえて改めて検討し、令和8年度以降の松山の工事を行っていきたいと考えている。</li> </ul>
副委員長	・現状では変状はないとおっしゃっているが、資料-5(2)の一番上の写真と同じぐらいの古いコンクリート擁壁かと思うので、補強しようとした工事自体が、現況の擁壁を壊してしまう可能性もあるようには感じた。
事務局	・ご指摘いただいた件を再度持ち帰って、調査結果も踏まえながら検討し、より景観に合った工事ができないか考えてみる。
委員長	・風雨で色が多少落ちていくとは思いますが、資料-5(2)の写真は強烈なので、もう少し周りに合ったような石を使ったほうが良い。
事務局	・この写真では赤過ぎて周りに合わないイメージになっているので、改めて考えてご報告させていただく。
委員長	・その他報告事項の4件目、資料6の「キッチンカーの試験導入について」事務局から説明願いたい。
事務局	(資料6 キッチンカー試験導入について 説明)
委員長	・4月から来年度いっぱい実施するのか。
事務局	・準備の時間が要するため、4月下旬から開始する。
林委員	・キッチンカーが出店する詳細な曜日などはまだ検討中か。
事務局	・まだキッチンカー事業者を選定していないため、選定したら曜日なども調整し、ホームページなど各所で広報、アピールをしていきたいと思っている。詳細はそちらで確

	認いただくことになると思う。
委員長	・あまりお客さんが来ないようなら、途中で撤退することもあり得るのか。
事務局	・区としては1年間出店してもらう条件で事業者を選定をしていきたいと思っている。ただ、曜日ごとの出店の判断は、キッチンカー事業者の意向もあるため、ゼロということはないと思うが、極力出してもらえよう調整はしていきたい。
委員長	・名勝に指定されていてもキッチンカーの出店について問題は生じないか。
東京都	・大規模に地面に設置するのであれば届出を出してもらう必要はあるが、今回は移動するものであるため問題ない。
委員	・公園には「商売をやってはいけません」と書いてあるが、それは問題ないのか。
事務局	・条例等を確認しながら実施しているため、問題はない。
委員	・洗足池駅前にキッチンカーが来ることになっているが、それはどうなっているのか。
事務局	・東急が実施していたものと思われる。駅前で一時期見かけられたが、最近は見かけないと記憶している。
委員	・採算が合わず、撤退したのではないか。
事務局	・区が行う事業なので、儲けることよりは公園の魅力を向上することに重点を置いている。採算性がとれない可能性もあるが、それで公園が良くなるかどうかの確認は試験ということで実施させていただきたい。
委員（都市基盤整備部長）	・採算性は重要だが、公園の魅力の向上という目的で試験的に実施させていただきたい。事業者も勘どころは分かっていると思うので、洗足池なら採算性が取れるということ踏まえて応募してくると思う。公園の魅力向上と、利用者にとってより良い使い方をしていただければと思っている。
委員長	・その他報告事項の5件目、資料7の「都市景観大賞のエントリーについて」事務局から説明願いたい。
事務局	(資料7 都市景観大賞へのエントリーについて 説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗足池公園並びに周辺地区を対象に、令和7年度の都市景観大賞に応募したいということと、その申請者として区や協議会がいるが、本協議会にも申請者を構成する組織の1つとして入ってほしいということである。</li> <li>・締切りが25日で、残り1週間くらいしかないため、今後の本協議会としての対応は私にご一任くださいますようお願いする。</li> <li>・本日、キッチンカー、増設工事、擁壁改修、景観構成重要木の伐採も含めて様々報告事項があったが、全て公園マネジメントの一端である。これらの事項を包含したマネジメント計画を検討しなくては場当たりの見えてしまうため、認識を改めていただきたい。</li> </ul>